



Silk Central 20.6

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

© Copyright 2004-2020 Micro Focus またはその関連会社。

MICRO FOCUS、Micro Focus のロゴおよび Silk Central は、Micro Focus またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2020-05-26

目次

Silk Central 20.6 リリース ノート	4
Silk Central 20.6 の新機能	5
管理	5
ダッシュボード	5
要件	5
テスト	6
実行計画	6
Issue Manager	7
手動テスト	7
実行	7
統合	7
Microsoft SQL Server のサポート	8
システム要件および前提条件	9
解決済みの問題（機能拡張要求を含む）	11
Micro Focus へのお問い合わせ	12
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	12
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	13
予定されているサポートの終了	15

Silk Central 20.6 リリースノート

バージョン 20.6

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 20.6 の新機能

Silk Central 20.6 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

管理

Axis サービスのセキュリティ向上のための対応

セキュリティを向上するために、Axis 1.4 を利用した SOAP サービスが無効化できるようになりました。これらのサービスはまだ使用可能ですが、今後の Silk Central のバージョンではサポート対象外になる予定です。対象のサービスは、`https://<ホスト名>/services` および `https://<ホスト名>/Services1.0/services` からアクセスするサービスです。

フィルター条件に対する制約の解除

フィルターに指定可能な選択条件の数が無制限になりました。

資産に対するアクセス許可の見直し

テストと実行計画の資産に対するアクセス許可が分離されたため、より細かくアクセス許可を管理できるようになりました。

ダッシュボード

ユーザーに割り当てられた手動テスト パネルの強化

ユーザーに割り当てられた手動テスト パネルで、カラムのグルーピングを行えるようになりました。また、2つの新しいカラム（**サイクル開始日** と **サイクル終了日**）が追加されました。

要件

グローバル リスト属性

グローバル リスト 属性タイプが要件のカスタム プロパティでも使用できるようになりました。グローバル リスト カスタム プロパティの値は、値リストを利用します。

リンク フィールド

グローバル リスト ベースのカスタム プロパティは、依存フィールドを定義して、グループ化できます。つまり、ほかのリストの選択に依存して内容の変わるリストを定義できます。

画像を含んだ XLSX ファイルのインポート

画像を含んだ XLSX ファイルから要件をインポートすると、インポートされた画像は要件の説明に挿入されるか、添付ファイルとして要件に追加されます。説明セルに画像があり、MIME タイプがサポートされている場合は、要件の説明に挿入されます。そうでない場合は、画像は添付ファイルとして追加され、添付の名前が説明に表示されます。

テスト

テスト資産のワークフロー

Silk Central 20.6 では、テスト資産のワークフローに対して次のような改良が行われました。

- テストの承認を実行できるユーザーを限定するために、専用のアクセス許可が Silk Central に追加されました。
- ワークフローのすべての状態から、テストを 廃止 状態に遷移できるようになりました（前のバージョンでは、承認済み 状態からのみ遷移可能でした）。
- 実行計画の **割り当て済みテスト** グリッドに、テストのワークフローの状態が表示されるようになりました。
- 承認されていないテストが割り当てられている状態で、**テスト サイクルの開始** や **実行** を選択すると、ダイアログに警告メッセージが表示されるようになりました。
- テストの開始や同期を記録するメッセージが結果に追加されるようになりました。このメッセージには、ワークフローの状態も含まれます。

リンク フィールド

グローバル リストベースのカスタム属性は、依存フィールドを定義して、グループ化できます。つまり、ほかのリストの選択に依存して内容の変わるリストを定義できます。

ユーザー リスト属性

Silk Central 20.6 では、新しい属性タイプとして **ユーザー リスト** が追加されました。ユーザー リスト属性は、プロジェクトに割り当てられたユーザーが一覧され、値として選択できます。

テスト グリッドの強化

テスト グリッドに、使用したソース管理プロファイルの情報が表示されるようになりました。この情報でフィルタリングすることも可能です。

テスト ツリーからの一括編集

Silk Central では、テスト ツリーで複数のオブジェクトを選択し、コンテキストメニューから一括編集を実行できるようになりました。複数のテストのプロパティや属性の値を同時に編集できます。

実行計画

必須属性

必須の実行計画属性を定義できるようになりました。実行計画、テスト サイクル、構成スイートの作成時に、必須属性の値を強制的に設定させることができます。

ドキュメント ビューの XLSX ファイルとしての保存

実行計画 領域のドキュメント ビューの内容を XLSX 形式のファイルとしてダウンロードできるようになりました。

リンク フィールド

グローバル リスト ベースの属性は、依存フィールドを定義して、グループ化できます。つまり、ほかのリストの選択に依存して内容の変わるリストを定義できます。

ユーザー リスト属性

Silk Central 20.6 では、新しい属性タイプとしてユーザー リストが追加されました。ユーザー リスト属性は、プロジェクトに割り当てられたユーザーが一覧され、値として選択できます。

Issue Manager

姓名を使った新しい受信箱の生成

Silk Central では、Issue Manager の受信箱を生成する際に、ユーザーの姓名を名前として使用できるようになりました。

手動テスト

JNLP の代替セットアップ

手動テスト ウィンドウから利用できる、**スクリーン キャプチャ**、**ビデオの録画**、**コード分析** 機能では、JNLP を使用しています。セキュリティ上の理由などにより、JNLP ファイルをダウンロードできないユーザーのために、Silk Central では、別の方法を使ってこれらの機能を使用できるようになりました。

実行

[現在の実行] グリッドでのバージョンとビルドの表示

アクティビティ ページの **現在の実行** グリッドに、自動テストのバージョンとビルドの情報が表示されるようになりました。

実行計画のデプロイ時間

実行計画のデプロイ時間（実行サーバーに実行計画が最初にデプロイされた時間）が表示されるようになりました。

完了した実行のビルド情報の変更

Silk Central 20.6 では、完了した手動テスト実行のビルド情報を変更できるようになりました。ビルド情報の変更を実行するには、対応するアクセス許可が必要です。また、このアクションを実行すると、バージョンやビルドを変更したユーザー、値が変更された日時、変更前の値、変更したユーザーによるコメント（必須）が記録されます。

統合

Micro Focus Connect

Silk Central 20.6 では、Micro Focus Connect との統合が強化されました。

- 手動でレポートを作成する必要がなくなり、統合を簡単に設定できるようになりました。
- テスト計画、テスト計画実行、テスト実行 間の関連が追加されるようになりました。
- テスト と 問題 間の関連が取得できるようになりました。
- 要件の同期が最適化されたため、パフォーマンスと信頼性が向上しました。
- Issue Manager の問題に関する情報を Micro Focus Connect が利用できるようになりました。

UFT Developer

Silk Central 20.6 では、JUnit テストタイプと MSTest テストタイプを使って UFT Developer をサポートできるようになりました。

UFT Mobile

Silk Central 20.6 では、UFT Mobile（旧名 Mobile Center）と統合されました。

JUnit 5.6

Silk Central 20.6 の JUnit プラグインは、JUnit 5.6 の結果書式をサポートするよう更新されました。

Atlassian Jira Software

Silk Central 20.6 では、Atlassian Jira Software との統合（要件管理、問題追跡）に対して、次の強化が行われました。

- Jira ユーザー認証時に、パスワードの代わりに API トークンを使用できるようになりました。
- Silk Central UI から新しい課題を作成する際に、必須フィールドが分かりやすく強調表示されるようになりました。
- Jira Software Cloud がサポートされるようになりました。

Microsoft SQL Server のサポート

Silk Central が Microsoft SQL Server 2019 をサポートするようになりました。

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップ ブランド機を含む) は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	2 コアの Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 8 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、データベース管理システム、Web サーバー	「 テスト済みおよびサポートされているソフトウェア 」を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

追加するインスタンスごとに、最低 10 GB の追加のディスク容量と、次の最低メモリが必要になります。

- フロントエンド サーバー : 500 MB
- アプリケーション サーバー : 300 MB
- チャート サーバー : 200 MB

作業内容に応じて、これらの値はより高くなる可能性があります。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームにお問い合わせください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。

プロキシ サーバーの要件

Silk Central で Microsoft IIS を使用する場合は、Silk Central をインストールする前に、次の IIS 拡張機能をインストールする必要があります。

- Application Request Routing (ARR)
- URL Rewrite

[IIS Downloads](#) ページから、これらの拡張機能の最新版をダウンロードできます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)• Mozilla Firefox• Microsoft Edge

手動テスト UI は、Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョンが必要です。Internet Explorer 11 を使った手動テストでは、32 ビット版の Java をクライアント上にインストールする必要があります。

解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

解決された問題と、実装された機能拡張要求を以下に示します。

SI #	RPI #	説明
2825501	616975	機能拡張要求： テストの作成時にテスト属性の値をユーザーに直接設定させる機能
2846192	1102548	問題の概要が 128 文字を超えると切り詰められる
2864194	629833	機能拡張要求： プロジェクト固有ではなく、グローバルなテスト属性を定義する機能
2988286	1108528	現在の実行 グリッドに実行に使用したバージョンとビルドを表示できない
3118824	630341	実行サーバーをシャットダウンしたり、接続が失われると、アプリケーション サーバーのログに実行サーバーとの接続エラーが大量に出力される
3129781	1111758	機能拡張要求： 値リスト 機能の強化
3130583	1111744	システム全体のトリガ というメニューの名前がわかりにくい
3142835	1112926	完了したテスト実行のステータスの変更に対するアクセス許可
3157740	1114362	プロジェクト設定 の フィルタ タブで、フィルタに追加できる選択基準の数が 10 個に制限されている
3166781	1114946	機能拡張要求： 問題の 状態 フィールドの値を太字で表示してほしい
3173647	1115723	機能拡張要求： 現在の実行 で現在実行中の実行のビルドとバージョンを表示してほしい
3175741	1115732	機能拡張要求： アクティビティ ページで複数のテストを同時に再実行したい
3211282	1118916	手動実行計画 ページで新しいテスト サイクルを作成した後で、いったん非表示にしてから再表示すると、開始日と終了日に指定した値と異なる値が表示される
3211629	1118768	機能拡張要求： 問題の新規作成時における 概要 フィールドの文字制限の拡張
3211954	1118763	新しいテストを作成するときに 完了 を何度もクリックすると、同じ名前のテストが複数個作成される
3214334	1119221	NGINX 1.16.0 のセキュリティ脆弱性
3215656	1119192	データ駆動型ソースのパラメータ名を変更したり、削除したりすると、データ駆動型子要素やフィルタ リストで問題が発生する
3215870	1119119	機能拡張要求： テストを承認するためのアクセス許可（テスト資産ワークフロー）
3215871	1119120	機能拡張要求： 割り当て済みテスト ページの ワークフローの状態 を表示して、承認済みのテストだけを選択する指標として使用したい
3220976	1119620	すでにクローズされた問題を編集すると、 DateClosed フィールドが現在の日時で更新される

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central 20.6 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Android 5.x、6.x、7.x、8.x、9.x、10.x (モバイルデバイスのテスト)
- iOS 10.x、11.x、12.x、13.x (モバイルデバイスのテスト)

 **重要:** 「[Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム](#)」は、すべての Microsoft Windows オペレーティング システムで必要です。Microsoft Windows Server 2016 以降の場合、**Windows Server (デスクトップ エクスペリエンス)** インストール オプションを選択する必要があります。

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

サポートする Web サーバー

- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- IIS 10 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2016 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)。Oracle RAC はサポート対象外です。
- Oracle 12c (バージョン 12.2.0.1)。Oracle RAC はサポート対象外です。

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 7.2
- Caliber 11.4、11.5
- UFT Mobile 2.51 以降
- Silk Performer 20.5
- Silk Test 20.5
- StarTeam 15.x、16.x、17.0
- Silk TestPartner 6.3
- UFT One 15.0
- UFT Developer 15.0

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian Jira Software 6、7、8(バージョン 6 と 7 はテスト対象ではありませんが、サポート対象です)
- Atlassian Jira Software Cloud。 *next-gen* (次世代) プロジェクト、および *next-gen* プロジェクトを含んだクラウド インスタンスに作成されたプロジェクトはサポート対象外です。
- Bugzilla 4.4.13、5.0.4
- CA Agile Central
- Git 2.20.1
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational DOORS Next Generation 6.0
- JUnit 4.x、5.x
- Java Runtime Environment 1.8 の最新バージョン
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2015
- NUnit 2.6.4、NUnit Console/Engine 3.8
- Subversion 1.9
- Team Foundation Server 2015、2017
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

IBM Rational DOORS

将来のリリースでは、IBM Rational DOORS はサポートされなくなる予定です。その代わりに、Silk Central は IBM Rational DOORS Next Generation をサポートするようになりました。

オペレーティング システムのサポート

以下のオペレーティング システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2

データベース管理システムのサポート

以下のデータベース管理システムは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 3
- Oracle 11g

要件管理システムとの統合

以下の要件管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Caliber
- IBM Rational DOORS
- Atlassian Jira Software 6
- Atlassian Jira Software 7
- VersionOne Enterprise Edition
- CA Agile Central

問題追跡システムとの統合

以下のサードパーティ製問題追跡システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Atlassian Jira Software 6
- Atlassian Jira Software 7
- Bugzilla 4.4.13
- IBM Rational ClearQuest
- Team Foundation Server 2015

ソース管理システムとの統合

以下のサードパーティ製ソース管理システムとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Team Foundation Server 2015

クラウドとの統合

以下のサードパーティ製クラウドとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- VMware vCloud

モバイル デバイス プロバイダとの統合

以下のサードパーティ製モバイル デバイス プロバイダとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Sauce Labs

Microsoft Office インポートとの統合

以下の Microsoft Office インポートとの統合は、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- Microsoft Office Word (.doc)

Web サービス

次の URL からアクセスするサービスは、将来の Silk Central リリースでサポートされなくなる予定です。

- <https://<ホスト名>/services>
- <https://<ホスト名>/Services1.0/services>

次の新しいサービスを使用してください。

- <https://<ホスト名>/Services1.0/jaxws>

SAP Solution Manager

以下の SAP Solution Manager のバージョンは、将来のバージョンでサポートされなくなる予定です。

- SAP Solution Manager 7.2